

決算認定

平成18年度一般会計及び特別会計、並びに水道事業会計決算認定について、9月定例会において決算認定特別委員会を設置し、審査が付託された。

特別委員会は、9月25日、26日の2日間開かれ、提出された実績報告書・各会計決算書・監査委員審査意見書を資料として審査した。

その結果、10月3日に次の意見を付して委員会として本会議報告をし、審査の結果、全員賛成で認定された。

意見書

今後の町政執行にあつての主な意見は次のとおりである。

① 合併効果後の人件費及び物件費等の経常経費のさらなる削減に向け、行政評価の活用、特別会計

■ 18年度 木曾町会計の決算状況 (H18. 4. 1~H19. 3. 31) (単位：円)

会計名	歳入	歳出	差引残額	
一般会計	10,843,847,996	10,618,106,416	225,741,580	
特別会計	国民健康保険	1,222,085,760	1,210,661,545	11,424,215
	老人保健	1,609,278,526	1,608,101,845	1,176,681
	診療所	136,280,023	129,361,666	6,918,357
	公共下水道	1,231,045,701	1,225,364,527	5,681,174
	集落排水等	149,603,878	148,134,674	1,469,204
	簡易水道等	199,072,133	196,700,014	2,372,119
	スキー場	297,771,000	297,771,000	0
合計	15,688,985,017	15,434,201,687	254,783,330	

繰出金の見直し等、方針・

方策に努力していくこと。

② 国の健全化法を見据え、

繰上げ償還の実施も含め

公債費を抑制するよう、

各課が連携して事業にあ

たること。

③ 各種税、使用料等、多

額の滞納がある。多年多

岐にわたる悪質且つ高額

歳出の比較 (対17年度)

区分	決算額 (千円)		増減額 (千円)		増減率 %
	18年度 A	19年度 B	A	B	
議会費	69,389	127,132	△ 57,743		-45.4%
総務費	2,697,983	4,138,153	△ 1,440,170		-34.8%
民生費	1,235,680	1,463,654	△ 227,974		-15.6%
衛生費	673,269	801,673	△ 128,404		-16.0%
労働費	31,209	41,844	△ 10,635		-25.4%
農林水産業費	560,496	652,474	△ 91,978		-14.1%
商工費	941,588	994,186	△ 52,598		-5.3%
土木費	1,095,730	1,093,623	2,107		0.2%
消防費	342,097	283,257	58,840		20.8%
教育費	644,873	739,782	△ 94,909		-12.8%
災害復旧費	184,533	226,387	△ 41,854		-18.5%
公債費	2,141,259	2,127,858	13,401		0.6%
諸支出費	0	328	△ 328		-100.0%
歳出合計	10,618,106	12,690,351	△ 2,072,245		-16.3%

歳出増減の主な原因

・議会費 …… 合併による議員歳費 …… △ 57,743千円	・商工費 …… 観光関連施設整備事業 …… △ 83,408千円
・総務費 …… 合併協議会負担金 …… △ 400,000千円	…………… 町制度資金預託金 …… △ 22,500千円
…………… 庁舎整備 …… △ 134,659千円	…………… 町道出尻線改良終了 …… △ 72,917千円
…………… 電算システム統合 …… △ 113,777千円	…………… 町道砂ヶ瀬線等新規路線改良 …… △ 46,136千円
…………… 財政調整基金積立 …… △ 478,104千円	…………… 消防費 …… 消防施設整備費 …… △ 47,417千円
・民生費 …… 開田保育所整備事業 …… △ 126,357千円	注) 広域連合消防分担金計上科目変更により総額で 20.8%増
・衛生費 …… みたけ診療所整備費 …… △ 121,239千円	…………… 教育費 …… 小中学校改修費 …… △ 12,533千円
・労働費 …… 木曾シルバー人材センター負担金 …… △ 9,720千円	…………… 災害復旧費 …… △ 41,854千円
…………… コンバイン等整備事業 …… △ 19,545千円	注) 31,029千円をH19年度に繰越
…………… スキー場町歳繰上げ償還 …… 181,589千円	…………… 公債費 …… 町債繰上償還 …… 78,830千円
…………… 大手町駐車場整備 …… △ 73,391千円	

④ 決算書全体での不用額は合併により発生したものが多いため、今後十分

精査し、今後の予算編成

に活かしていくこと。

⑤ 消防施設設置基準・農

業団体補助金・公民館

活動助成金等々、合併後

未調整の部分については

早期に調整を図ること。

⑥ 指定管理者の33施設全

体の施設管理料、使用料